

# 神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 21-12】2022年5月31日発行

横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

## 改憲・社会保障改悪をストップする参議院選挙に！！

6月22日公示、7月10日投票日予定で参議院選挙がたたかわれます。5月29日、「つながろう参院選@かながわ」主催で、参院選全県市民の決起集会「PeoplePowerで政治を変えよう！」が開催されました。各地域の市民連合が参院選への決意を語り、高田健さん（総がかり行動実行委員会共同代表）が、「今こそ市民と立憲野党の共闘を！」と題して特別講演。市民連合の立憲野党への政策要望書を紹介し、「参院選で改憲派議席3分の2を阻止し、改憲発議を阻止しよう」と訴えました。



社会民主党、立憲民主党、日本共産党の代表・神奈川選挙区予定候補者が訴え、参加者全員でコールして決意を固めました。「改憲NO」「社会保障改悪NO」の声を広げていこうではありませんか。

### 2022年参議院選挙における野党に対する市民連合の政策要望書

ロシアによるウクライナ侵略がもたらす世界秩序の激動の中で参議院選挙を戦うという未曾有の政治状況の中、戦後日本の針路が問われています。市民連合は、立憲主義の回復と安保法制の廃止を求め、立憲主義の理念を共有する野党各党と4回の国政選挙をたたかっています。今回も野党には、今こそ憲法が指し示す平和主義、立憲主義、民主主義を守り、育むために、以下の政策を共有し、1人区において最大限の協力を行うよう要望します。

#### 1. 平和国家路線の堅持と発展

日本国憲法が掲げる立憲主義、平和的生存権の理念に立脚し、戦争をさせないために専守防衛に基づく安全保障政策を着実に進め、非核三原則を堅持し、憲法9条の改悪、集団的自衛権の行使を許さない。辺野古新基地建設は中止する。さらに、ロシアによるウクライナ侵略に抗議する国際社会と連帯し、人間の安全保障の理念に基づき人道支援を進める。

#### 2. 暮らしと命を守るための政策の拡充

みんなの暮らしを守るために、スタグフレーションへの対策としてあらゆる財政支出を展開し、新型コロナウイルスの教訓を踏まえて医療政策の再建を行う。また、金融所得課税を始めとする税、社会保険料負担の適正化によって社会保障、社会福祉の拡充を進め、すべての生活者や労働者が性別、雇用形態、家庭環境にかかわらず、尊厳ある暮らしを送れるようにする。

#### 3. 気候変動対策の強化とエネルギー転換の推進

人びとの暮らしを脅かす異常気象の頻発にかんがみ、また将来世代や未来の人々、生きものに対する責任を果たすために、気候変動と環境保全の対策を加速し、国際社会による温暖化対策の強化に向けて働きかけを強める。また、経済や安全保障上のリスクを軽減する観点からも、原発にも化石燃料にも頼らないエネルギーへの転換を進め、脱炭素社会を早期に実現する。

#### 4. 平等と人権保障の徹底

政治の場、働く場、学ぶ場、生活の場において男女平等を実現し、伸びやかで活力のある社会や経済へと転換するために、選択的夫婦別姓制度などの法制度整備を急ぐ。また、女性に加えて、LGBTQ、外国人、障がい者などに対するあらゆる差別を廃絶し、すべての人の尊厳が守られ、すべての人が自らの意志によって学び、働き、生活を営めるように人権保障を徹底する。

# 「生活保護減額は違法」熊本地裁・原告勝訴判決！！

5月25日、熊本地方裁判所は、熊本県内の生活保護利用者36人が訴えた「生活保護基準引き下げ違憲訴訟」で、減額は生活保護法に反するとして、処分を取り消す原告勝訴の判決を言い渡しました。全国の同種の訴訟10件目の判決で、処分を取り消したのは、昨年2月の大阪地裁判決に次ぐ歴史的な勝訴判決であり、この間の地裁不当判決を乗り越えた画期的な判決です。

国が2013年10月から3年間行った生活保護減額は、生存権を保障した憲法25条に反するとし、全国29都道府県で1000人近い原告がたたかっています。

熊本地裁判決は、大阪地裁の「デフレ調整に対して統計等の客観的な数値等との合理的関係性や専門的知見との整合性を欠く」としたのに加え、「ゆがみ調整」についても大臣の過誤欠落があると、一步踏み込んだ内容でした。連続して保護基準を引き下げてきた当時の安倍政権の社会保障削減政策を正面から問うものです。原告・弁護団は、国、被告処分庁（福祉事務所）に控訴を断念し、速やかに判決を確定することを要求しています。

コロナ感染症の収束が見えない中で、貧困と経済格差が広がり、国民の生存権を保障する生活保護制度の役割は極めて重要になっています。しかし、生活保護を必要とする人のうち、20%程度の人しか利用できていません。コロナ禍の下で生活保護制度が機能を発揮できるようにすることが必要です。（全生連声明より引用しました）

神奈川生存権裁判は、4月20日の口頭弁論・最終意見陳述で主張立証を終え、結審しました。横浜判地裁判決は10月19日です。現在、裁判官への公正判決を求める署名は、7000筆近くまで到達しました。熊本地裁判決に続いて勝利判決をかちとるために、目標である1万筆の実現に向けて支援の輪を広げていきましょう。



## 5.7～19 神奈川平和行進 核兵器のない世界を訴え!!

東京夢の島から広島まで、今年も平和行進がスタートし、5月7日から5月19日にかけて、神奈川県内の各地で、核兵器のない世界の実現をアピールしました。

5月7日、六郷橋（宮本台緑地）にて、各団体の代表により引継ぎ式が行われ、東京から神奈川へ平和行進の横断幕が引き継がれました。5月12日、桜木町駅前広場にて出発集会が行われました。集会では、山中横浜市長からのメッセージを受け、県庁に向けて行進がスタートしました。県庁では、黒岩知事からのメッセージを受けました。



5月19日、湯河原御庭公園にて、神奈川県から静岡県への平和行進引継ぎ集会が行われ、両県から約100名が参加しました。神奈川県原爆被災者の会会長・丸山進さん、神奈川県民ピースリレー実行委員会・里見里奈さん（ユーコープ理事）、国民平和行進実行委員会・住谷和典さん（神奈川労連議長）、元湯河原町長・丸山孝夫さんがあいさつ。横断幕が引き継がれ、静岡県を代表し静岡県原水爆被害者の会顧問・大和忠雄さんがあいさつしました。13日間、県内でロシアのウクライナからの撤退、核兵器のない平和な世界を訴え続けました。

平和行進は1958年6月20日、ヒロシマの原爆記念碑の前から8月に東京で開催される第4回原水爆禁止世界大会に向けて「地球上から核兵器を追放することを国民に呼びかける」ために日本山妙法寺の故西本敦上人の呼びかけで同寺の僧が中心に歩いたことが始まりです。翌59年には、第5回世界大会が開かれる広島に向けて東京・沖縄・新潟から行進が行われ、以来毎年続けられています。

神奈川県内の平和行進は、神奈川県原爆被災者の会、神奈川県民ピースリレー実行委員会（ユーコープ、パルシステム神奈川、川崎医療生協、神奈川県生協連）、国民平和行進実行委員会（原水協神奈川等）の3団体が「神奈川県平和行進懇談会」を結成し、県内13日間を運営しています。

## 2つの<緊急>団体署名を提出!!

## 5.26 国会署名提出行動

5月26日、署名提出国会行動が行われ、全国から150人が国会に参加しました（オンライン参加50カ所）。神奈川県からは、医労連・自治労連・民医連・川崎社保協・県社保協から12人が参加しました。

この日までに全国から寄せられた署名の累計は、①75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める請願署名703,419筆、②介護保険の抜本改善をめざす請願署名288,077筆、③安心・安全の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための請願署名（新しいち署名）45,739筆です。神奈川の提出署名の累計は、①49,276筆、②11,104筆、③15,042筆です。

上記の3署名とあわせて、2つの緊急団体署名を提出しました。取り組み期間は、1カ月不足でしたが、「75歳以上医療費窓口負担2割化10月実施中止法案提出を要請する緊急団体署名」1030筆、「介護職員の抜本的な処遇改善を求める緊急団体署名」1924筆提出されました。神奈川県からは、それぞれ269筆、281筆を提出しました。

集会であいさつした倉林明子議員（共産党）は、75歳以上医療費窓口負担2割化の10月実施について、「参議院で立憲民主党などと中止法案を提出することで調整している」と力強いお話がありました。自治労連と川崎社保協、県社保協の参加者は、「75歳以上医療費窓口負担2割化10月実施中止法案提出を要請する団体署名」を、福島みずほ議員（社民党）、大石あき子議員（れいわ）に提出し、中止法案の提出を要請しました。

民医連の参加者は、介護職員の処遇改善を求める団体署名の厚労省への提出行動に参加しました。医労連の参加者7人は、新しいち署名の紹介議員106名へのお礼と署名渡しの行動に参加しました。



大石あき子議員（左端）に団体署名を提出  
（右から2人目・3人目が神奈川の参加者）

## 県民要求連絡会総会を開催！！

5月19日、県民要求連絡会の総会が、会場18人、ZOOM6人が参加して開催された。社保協として、民医連と県社保協から参加しました。神奈川県への要求提出の日程について、以下を確認しました。7月16日までに、県民連絡会に要求案を提出し、7月31日（日）夏季討論論集会、8月22日（月）県への要求書提出、11月上旬～中旬に対県一斉交渉の予定。



## 神奈川国会行動8団体49人参加！！

5月18日、神奈川国会行動が行われ、建設労連と神奈川土建の参加者を中心に、8団体49人が参加しました。

地元国会議員50人と憲法審査会46人の委員に対して、「改憲論議ではなく、憲法に基づく政治を」などを要請しました。インボイスの中止・延期を求めた要請もしました。



## メーデー県内2000人以上参加！！

神奈川県の5.1メーデーの取り組みは、神奈川県・横浜集会を含めて県内8カ所、集会・デモ、宣伝行動などで、市民へのアピールをしました。神奈川県・横浜集会は、1000人余が参加し、全県で2000人を超えた参加がありました。写真は、横浜集会で、75歳以上の医療費2倍化反対の横断幕をかかげる年金者組合の参加者です。



# 「全世代型**低**社会保障」 の道を阻止する（仮題）

～参議院選挙で社会保障破壊の政治にストップ～



＜講師＞ **唐鎌 直義** さん  
(佐久大学人間福祉学部特任教授)

時 **6月12日(日)**

★13:30～15:00 学習講演

★15:15～16:30 県社保協総会

所 **建設プラザ+ZOOM 視聴**

ZOOM 視聴・接続情報

<https://onl.bz/Y53HxBd>



ZOOM 視聴される方は、当日接続してください。講演レジュメ・資料は、前日までにホームページにアップします。

## ＜6月の主な行動・会議日程＞

- 6月1日(水) 中央社保協運営委員会・介護障害部会 10:30 医療労働会館+(ZOOM)
- 6月2日(木) ケア労働者の組織化に向けた相談会 16:00 平労会館 7F+(ZOOM)
- 6月3日(金) 県社保協第12回常幹・幹事会合同会議 14:00 保険医協会会議室+(ZOOM)  
ロシアはウクライナから撤退せよ反戦デモ 18:00 桜木町駅前広場
- 6月5日(日) 神奈川県建設労連第68回定期大会 10:30 かながわ労働プラザ
- 6月6日(月) 県民要求連絡会事務局団体会議 13:00 県職労連会議室+(ZOOM)
- 6月7日(火) 全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン① 9:00 建設プラザ出発
- 6月8日(水) 神奈川県国会行動 10:00 (衆議院第一議員会館大会議室)
- 6月9日(木) 全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン② 9:00 建設プラザ出発
- 6月10日(金) JAL 争議の早期解決・JAL 本社前行動 18:30 JAL 本社前  
ロシアはウクライナから撤退せよ反戦デモ 18:00 桜木町駅前広場
- 6月12日(日) 神奈川県社保協 2022 年度総会 13:30 建設プラザ 2F ホール
- 6月13日(月) 中央社保協・関東甲ブロック会議 10:00 (ZOOM 会議)  
全労連社会保障闘争本部会議 10:00 全労連会議室+(ZOOM)
- 6月15日(水) 消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会館会議室+(ZOOM)
- 6月16日(木) 75歳以上医療費2倍化中止を求める宣伝・署名行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 6月17日(金) インボイス制度の中止県議会意見書要請 11:00 神奈川県庁新庁舎ホール
- 6月18日(土) 全労連・非正規全国交流集会 in 富山 13:00 (～19日12:00) (オンライン)
- 6月20日(月) 県社保協医療保険改善委員会 14:00 神商連会館 3F 会議室+(ZOOM)
- 6月22日(水) 参議院選挙公示 (7月10日投票) 予定
- 6月24日(金) 消費税廃止各界連宣伝署名行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前